

ひとりで悩まず、 みんなで話そう! ～在宅介護者のつどい～



笑顔で健康体操「はい。伸ばして～」講師は、
長年保健師として活躍された平岡千恵子さん

社協では、介護中の方や介護を終えられた方が集い、一息ついてリフレッシュできる場として、「介護者のつどい」を支部ごとに開催しています。

2月22日(水)
のつどいでは、参加者から要望が多かった「健康体操と健康の話」を地域包括支援センターと



お弁当を食べながら、介護体験や震災の体験などいろんな話が聞けました

共同で開催しました。
健康体操の他にも、保健師さんに体調のことや介護の悩みごとを相談する方もありました。

参加者からは、「肩が軽くなった」「今日はええ勉強させてもらったわ」「来ちゃった時より顔が穏やかになっつてやで」など、ほっとした様子が感じられました。

「悩んでいるのは自分だけじゃない」「一人で悩まず皆と話すことで、少しでも気持ちりが軽くなる」「これからもそんなつどいの場にしていきたいと思います。」

(山崎支部 森井裕矢)



参加者もボランティアも落語を満喫…

伊和ふれあい寄席

ふれあい喫茶で落語会

Prikiya Mekiさん

2月26日(日)、伊和ふれあい館で行われた「ふれあい喫茶」に60名が参加しました。

当日はふれあい喫茶に寄席が設けられ落語会を開催。演者は一宮町出身のアマチュア落語家、プリキ家メッキさんです。

落語ネタは古典落語の演目の一つ「ぶく鍋」…「ぶく鍋を食べたいふたりの男性が、毒がこわいのでお互いに、相手に毒味をさせよう



金屏風に高座…公民館があつという間に寄席に!

とするお話…

プリキ家さんのテンポの速いしゃべりと表情のおもしろさから、だれもが話に引き込まれていました。

参加者からは、「ふれあいで落語を見せてもらってほんまによかった」との声が多く聞かれました。

今回このような機会を作られた喫茶関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

(本部・一宮支部 波多野好則)

読者の感想より

義母が毎月楽しみにしています。病気で入院中なので、早速持って行って見せたところ、「自分も元気であれば」と言いながら眺めていました。(山崎町 女性)